

経営比較分析表（令和3年度決算）

香川県高松市 みんなの病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	自治体職員 学術・研究機関出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	25	対象	ド透I 訓ガ	救 臨 感へ災地輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
424,414	27,300	非該当	非該当	7：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

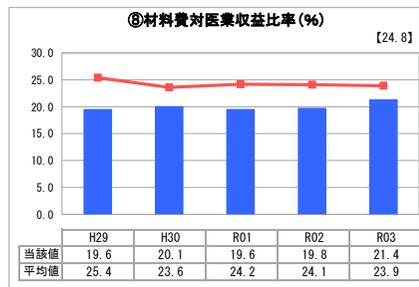
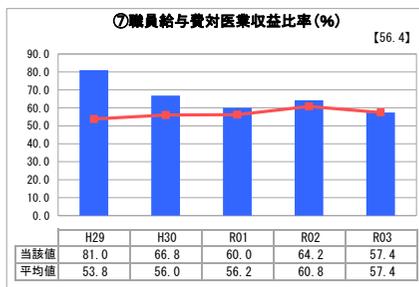
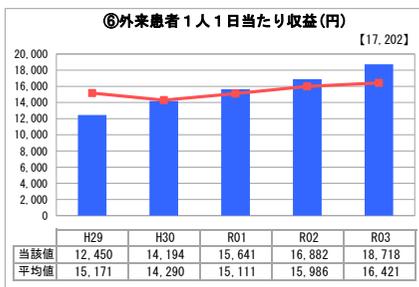
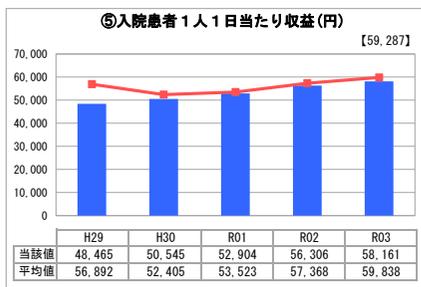
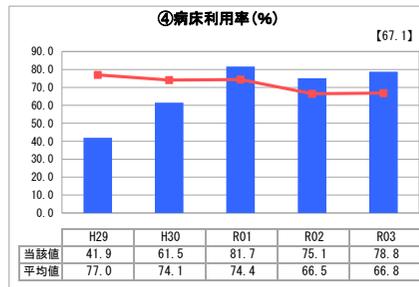
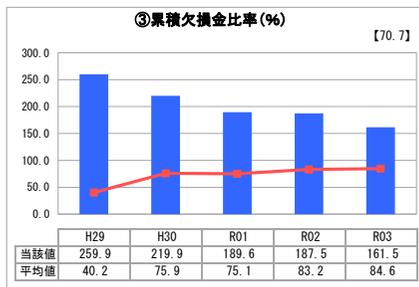
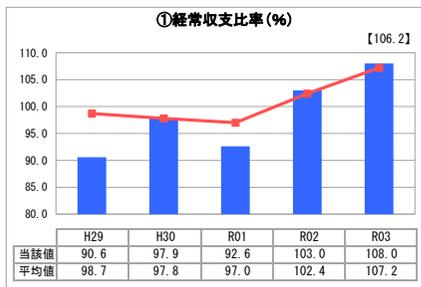
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
299	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	6	305
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
271	-	271

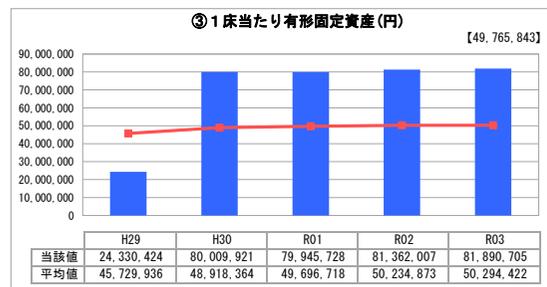
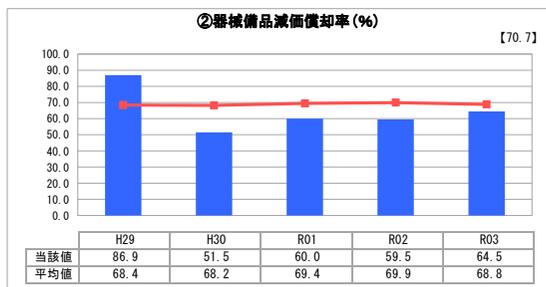
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
平成30年度	-	-
年度	-	-

I 地域において担っている役割

中核病院として、地域医療機関との連携を図りながら、良質な医療を提供することはもとより、救急医療やがん医療の充実を図るとともに、実習生等の受け入れによる人材育成など、公立病院として、民間医療機関では困難な医療サービスの提供に努めている。また、災害時拠点病院として災害時における医療や、第二種感染症指定医療機関として感染症医療に対応している。あわせて、地域包括ケアの後方支援機能を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

⑤入院患者の収益については、効率的な病床管理の徹底やがん治療に注力したものの、類似病院平均値には、届かなかった。一方、外来患者の収益については、がん治療など高額薬品を使用する患者が増加しており、平均値を上回った。また、入院・外来ともに患者数が増加したことから、②医業収支比率は改善し、併せて新型コロナウイルス感染症に係る補助金を受け入れたことにより、①経常収支比率も改善され、ともに平均値を上回った。⑦職員給与費対医業収益比率について、医業収益の増加と退職給付費の減少に伴い改善した。

2. 老朽化の状況について

開院して4年目であることから、資産の老朽化を示す①有形固定資産減価償却率、②器械備品減価償却率については、ともに類似病院平均値より低い値を維持している。③1床当たり有形固定資産については、「生化学・免疫連結型自動分析装置」や「手術支援ロボット関連機器」等の設備投資、新型コロナウイルス感染症に係る補助金を利用した設備投資を行ったことにより、増加している。

全体総括

入院患者数は、コロナ禍で減少した令和2年度から一定の回復が見られた。加えて、効率的な病床管理の徹底や、がん・救急医療に注力したことなどにより、診療単価が上昇し、②医業収支比率が類似病院平均値を上回った。また、コロナ関連の補助金を受け入れたことから、①経常収支比率も上昇した。④病床利用率については、地域医療連携の強化や効率的な病床管理の徹底などに努め、コロナ専用病床としている一部病床を除いては、今後も高い病床利用率を維持していく。今後も医療の進歩に合わせた、更なる高度医療に対応した環境づくりに努めるとともに、より戦略的な収益確保と、可能な限り、経費圧縮に努め、病院事業の健全運営に取り組む。

経営比較分析表（令和3年度決算）

香川県高松市 市民病院塩江分院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	自治体職員 学術・研究機関出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	7	-	訓	^
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
424,414	3,621	第2種該当	-	2.0 : 1

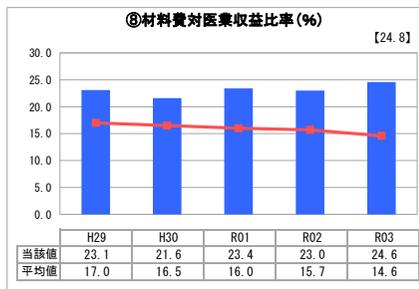
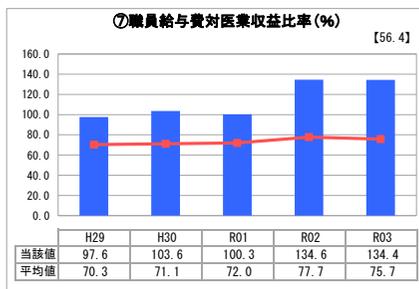
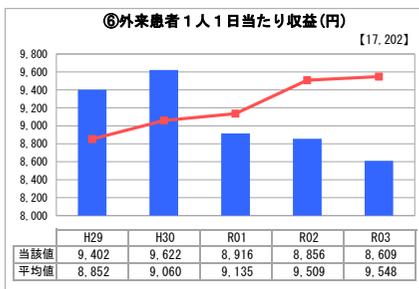
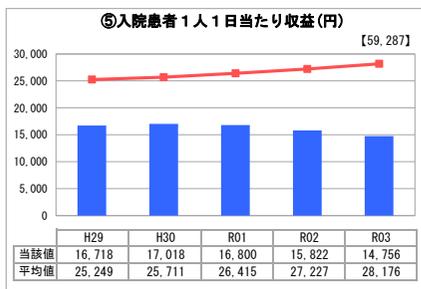
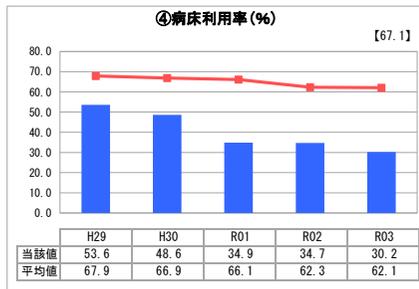
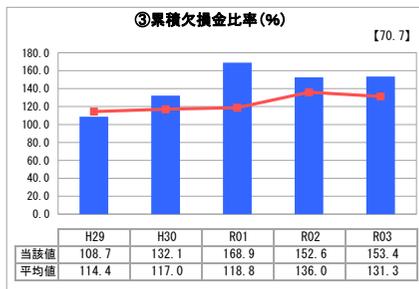
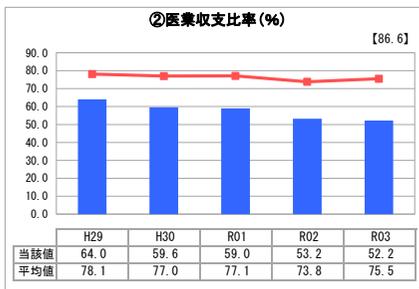
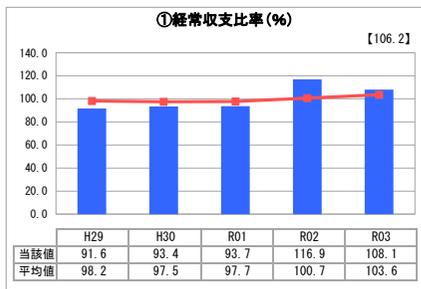
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 ヘ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

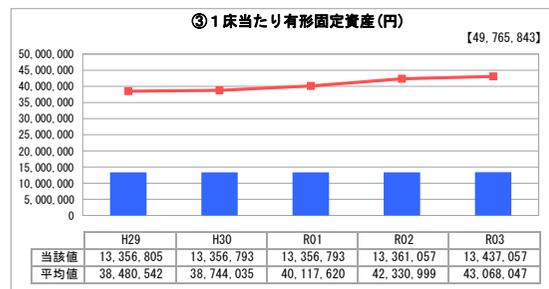
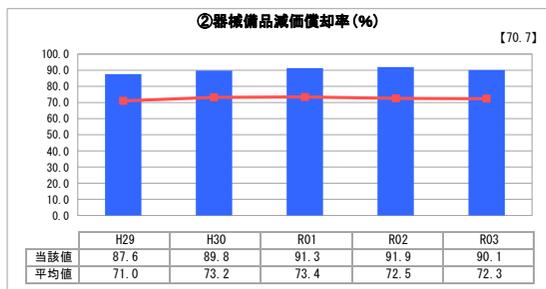
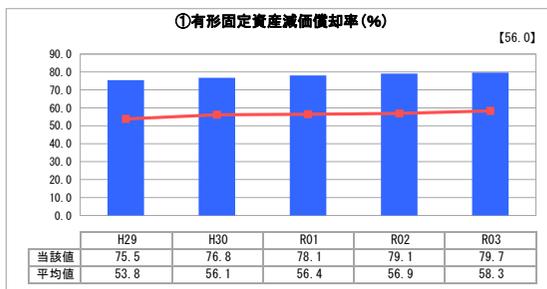
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
-	87	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	87
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般＋療養）
-	50	50

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【	令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

民間医療機関の進出が困難な、山間・へき地である塩江町唯一の病院として、慢性期医療を中心に、急性期病棟の後方病院として、地域に根ざした良質な医療サービスの提供に努めている。また、急速な少子高齢化が進む地域において、保健・医療・福祉が一体化した地域包括ケアシステムの先進的なモデルの構築を目指し、訪問診療や訪問看護の推進など、「地域まるごと医療」を実践している。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

塩江地区住民の減少や入院患者の施設入所などが影響し、入院患者数が減少し、④病床利用率、⑤入院患者 1 人 1 日 当たり 収益が類似病院平均値を下回っている。外来患者数は、概ね前年度を維持しているが、新型コロナウイルス感染症による受診控えや、後発医薬品の使用推進等により、⑥外来患者 1 人 1 日 当たり 収益が減少し、平均値も下回っている。以上のことから、②医業収支比率も平均値を下回っているが、①経常収支比率は、健全経営の100%を超えており、他会計繰入金による医業収益以外の収入に依存している状態である。

2. 老朽化の状況について

塩江分院は、施設を建て替え、みんなの病院の附属医療施設になることになっており、整備完了までは、故障等による更新を除き、現有資産を適切に維持管理することとしている。このため、①有形固定資産減価償却率、②器械備品減価償却率とも老朽化しており、類似病院平均値よりも高くなっている。また、新たな資産購入等の投資を控えていることから、③1床当たり有形固定資産についても、類似病院平均値を大きく下回っている。

全体総括

人口減少、高齢化が進行した地域の特性上、大幅な患者数の増加は見込めず、今後も厳しい経営状況が見込まれることから、附属医療施設の整備を速やかに進めるとともに、みんなの病院と連携を密にした医療を提供するなど、各種業務の改善・効率化等に努める。また、「地域まるごと医療」をスローガンに、健全経営に努めるとともに、保健、医療、福祉が一体となって地域包括ケアに貢献していく。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。